



市子連マーク

大阪市子ども会

いくせい



大阪市子ども会
育成連合協議会

発行者 中山 良明
平成23年9月30日

発行所：大阪府中央区法円坂1-1-35 アネックス・パル法円坂 市子連広報調査部 Tel.6941-1116 Fax.6943-8906



4月24日大阪城太陽の広場にてこどもカーニバル2011が開催されました。
前日までの天気がウソのような晴天になり、多数の入場者を迎えることができました。
今年も大阪府人形問屋協同組合から寄贈を受けた立派なこいのぼり、大阪府人形問屋協同組合理事長の山本さんと平松大阪市長、子ども会の中山会長、子ども宣言を行ってくれた子どもたちが力を合わせて空高く揚げていきました。

こどもカーニバル

2011



真つ青な空に昇って行くカラフルなこいのぼりがセレモニーに華を添えました。まるで子どもカーニバルの成功を空の上から見守っているようでした。開会式で市子連の鼓笛隊が一同に勢揃いしての合同演奏は壮観でした。なかなか、合同練習など出来ないのですが、見事な演奏を聴かせてくれました。
大阪市24区子ども会が、模擬店・わんぱく広場・バザーコーナーを、青少年指導員会が遊びのコーナーを、市内各協力団体行政機関が色々なコーナーを担当しました。普段体験出来ないはしご車の、地上20層の世界に長蛇の列ができ、普段見られない景色に子どもたちの目がキラキラ輝いていました!!



最後に未明まで大雨のため、前日準備ができず、関係者の皆様には、早朝より準備に大変ご苦労をかけましたことをお詫び申し上げますと共に、ご協力のお礼申し上げます。



「シニア・ジュニア リーダー育成委員会」

3月26、27日と二日間、伊賀青少年野外活動センターに於いて、シニアリーダー・ジュニアリーダーの一泊研修を行いました。

育成委員会10名、シニアリーダー11名、ジュニアリーダー75名、計96名参加。今回の研修会は、各区子連で育ったシニアリーダーを中心に再結集をして、育成委員会とシニアリーダーが事前打合せを綿密に行い、班割りから解散までジュニアリーダー自身の手によってプログラムの全てを実施し、事故もなく無事に研修会を終了することが出来ました。

市子連SL・JL委員会、シニアリ



ダー・ジュニアリーダークラブは、今回参加したリーダーを中心に、より一層の活性化を願って平成25年8月予定の指定都市JL大阪大会に向かって準備を進めて行きたいと思ひます。

「平成二十二年大坂市子ども会 ジュニア・シニアリーダー 一泊合同研修会について」

鶴見区 SL 北地 秀

私は今回の一泊合同研修会には、スタッフとして参加しました。

私はこの研修会に参加するにあたって、一つの目標をもって参加しました。それは、「スタッフとしての立場だけでもみんなと楽しむ」というものです。

この目標は自分の中では、挑戦でもありました。なぜなら今までは単なる参加者として参加していたのが、スタッフという違う立場で参加したからです。やはり立場が違つと、する事、見る事、言う事を気にしたり、考えたりしなければなりません。

しかし、そればかりを気にしすぎると、目標である「みんなと楽しむ」のできません。

スタッフという立場を上げると目標が下がり、目標を上げるとスタッフという立場が下がる、一泊研修会

シニア・ジュニア合同一泊研修・伊賀青少年野外活動センター



の間、このことの繰り返しでした。その結果、私自身がまったく動けず、私が受け持った班の子どもたち、参加してくれていたリーダーたちに楽しい研修というものを経験させてあげられませんでした。

このことを反省し、改善して、次の一泊研修会までには良くしていきたいと思っています。

最後に一泊研修会の立案、プログラムの作成、引率などをしていただいた市子連シニア・ジュニア育成委員会の皆様にお礼の言葉を言わせていただきます。

天王寺区 JL 斎藤 美羽

私が、一番思ひ出に残っている事は、キャンドルファイアーです。本当はキャンプファイアーだったのですが、雪が降っていたためできませんでした。でも、とても楽しかったです。初めて会った人とも仲良くなれました。

野外炊飯では、チームで協力して、おいしいハヤシライスを作ることができました。地元の子ども会で自慢できる事を画用紙にまとめ発表しました。とても楽しかったので、また行きたいです。



西淀川区 SL 相原 奈津紀

私は、このキャンプに参加するのは、今回で三回目でした。

今回のキャンプは、小学生、中学生、リーダー、指導者が一体となり、無事研修会を終えることが出来ました。

二日間で感じた事は、ジュニアリーダーとしての「意識の違い」です。それは、各区によって、ジュニアリーダーの養成や育成に差が見られるからです。

ジュニアリーダーとは、子どもたちの良きお手本であり、子どもと大人のパイプ役です。この研修会の二日間で学んだことが、少しでも地元で活かせたらいいと思います。来年は、今年以上に良いキャンプにしたいと思いました。

ジュニアリーダーの活動の発展には、子ども会の会員数の増加、親をはじめとする家庭での私たちの活動に対する理解度の引き上げが必要不可欠かと思っています。少しでも規模を大きくし、さらに異年齢間交流をどう深めていくかを考え、どう行動していくかが鍵となります。

これは、私が大学の卒業論文で、「子ども会活動に於けるジュニアリーダーの養成とその課題」について研究した結果です。

これからは、何よりも大阪市のジュ

ニアリーダーをもっと活性化させたいと思います。



天王寺区 中井 太紀

ぼくは、このジュニアリーダー研修会で、伊賀はものすごく寒さが厳しいと思いました。大阪では全く雪など降っていませんでしたが、伊賀ではいたるところに雪が降り積もっていました。特に、キャンドルファイアーでは、足が凍ってしまうかと思うほどでした。しかし、各班のアトラクションで心も体もあたたかくなり、すごく楽しかったです。

指定都市ジュニアリーダー研修 IN 神戸

「第43回指定都市子ども会ジュニアリーダー大会」

神戸大会に参加して

西淀川区 SL 西本 脩作

私は、今年初めてこの指定都市の大会に参加しました。普段関わることのできない、各都市の、同じ活動をしている人達と交流できたことは、とても刺激になり、プラスになりました。特に、私は「シニア」というポジションでの参加だったので、研修生目線で、また指導者目線で、プログラム全体の流れや段取りなどを考えながら行動しました。

各都市の研修生にはいろいろな特徴がありましたが、研修を楽しもう、という気持ちだけは都市などは関係なく、みんながみんな持っているように思いました。大きい声をだして目立つ子や、自分から積極的にアクションを起こす子、班長が、いいないに関係なく進んで自ずと班をまとめる子など、さすが各都市の代表で来ている子たちだなと感じました。楽しむときは楽しむ、真面目に取り組むときは取り組む、そのメリハリがひとりひとりに窺えました。しかしその中で少し残念だったのが、真面目にやっている子場面に何

度も出くわしたことです。一見仲良くやっているように見えても、陰でストレスを感じている子や我慢をしている子がいることは、来年以降も大きな問題になると思います。三泊する間にもめごとやいざこざが全く何もなく、無事に平和に終わるキャンプなどはおそらく実現不可能だと思いますが、せめて、そういった少しの気づかいで解決できるような簡単な問題は、きちんとスタッフや引率者、指導者が、解決への糸口を見つけてあげる配慮で丸く収まると思います。主役はあくまで研修生の中高校生ですが、スタッフやシニアは、一番近い相談相手であらないといけないな、と考えさせられました。



各区子連活動報告

天王寺区

指導研修部長 河西 正剛

第15回天王寺区子連ジュニアリーダー泊研修会を8月6、7日大阪市立信太山青少年野外活動センターに行いました。

参加メンバーは、JL(ジュニアリーダー)42名、指導者11名でした。

日程は6日の夕食としてカレーライスを作りました。男子はかまどなどで薪を組み立てて火の担当をし、女子はカレーの材料とご飯の用意をしました。できあがったカレーはしゃぶしゃぶ



のスープカレーになりましたが、皆笑顔でもりもり食べていました。夜のキャンプファイアーでは、各單位子ども会のJLがスタンツを考え、最後まで楽しく盛りあげられました。

あくる日の7日の朝は全員でラジオ体操を行った後、朝食に豚汁を食べました。そのあと、JL研修会の思い出として、子どもも大人も集中してマイ勾玉をつくりましたが、個性豊かなものができあがりました。

1泊2日の研修はあっという間でしたが、JLにとってはいい体験・思い出になったと思います。

TIME TABLE

8月4日(木)

14:00 開会式
15:00 ゲーム理論と実習
「はじめまして」
16:00 安全教育
18:00 夕食
19:00 講義とグループミーティング
「市内散策に当たって」
20:30 入浴
22:30 消灯

8月5日(金)

7:00 起床
7:53 朝食
9:25 市内散策 開始
15:00 市内散策
集合(ボートタワー)
16:00 都市別名物料理
20:30 入浴
22:30 消灯

8月6日(土)

7:00 起床
8:40 朝食
9:35 班別情報交換会議
12:00 昼食
13:00 レクリエーション交換会
15:00 クラフト
17:00 夕食
18:00 キャンプファイヤー
20:30 温泉
22:30 消灯

8月7日(日)

7:00 起床
8:00 朝食
9:00 身辺整理
9:30 閉会式
10:00 さよならパーティー
13:00 解散

レクリエーションも含め、地元に帰って帰れた収穫は本当に大きいです。来年の福岡大会は今年の神戸大会以上に、内容も濃くそいった問題もあまりないような、楽しいキャンプになればいいと思います。課題をひとつ挙げるとすれば、主催する都市のスタッフは、人数がいくら多くても、当日のスケジュールをちゃんと頭に叩き込み、常に次の自分の行動、全体の行動を把握しておくことが大切だと思います。情報を沢山持っている人と、ただ同じシャツを着ているだけで何をすればいいか分からず手持無沙汰な人とに別れてしまうのは、とても協力してやっているとは言えません。

2年後に行われる予定の大阪大会は、



今回のキャンプで学んだこと、来年の福岡で学べることを全て吸収して、いいものが全て詰まった大会にできたらな、と思います。私自身もスキルアップを図って、他の区のメンバーたちとともに、頑張りたいと思います。



西成区

『区民まつり』

会長 奥原 正平

8月7日(日)に行われた西成区民まつりには多数の区民の皆さんが参加してくださりました。

当日は、早朝より気温が、ぐんぐんと上昇して開場する頃には、スタッフ全員が汗だくの状態で開始。子ども会のブースでは、子ども達の楽しそうな声が聞こえていました。

また来年景品を楽しみにしてくださいね。



大正区

「第35回子ども文化祭」

広報部長 倉 高子

大正区では毎年2月の第一日曜日に、コミュニティホールと屋外の噴水広場で実施しています。

ホールでは、各小学校下より参加の子どもたちが様々な演技を披露します。各参加者は、12月に参加申し込みをして練習を重ねて本番を迎えます。

最近では学校のクラブの器楽や和太鼓等の参加があり、中でも沖縄舞踊のエイサーは大正区の特徴です。



他にはダンスや琴、日舞や空手、学童保育などの一般の教室からの参加もあります。

また、市子連の第二分隊に所属する鼓笛隊グリーンアップルズの皆さんには、開幕のファンファーレと演奏で毎年会場を盛り上げて貰っています。

今年は舞台発表終了後に、子どもの命と安全を守る講習を行い、人形劇やクラシック演奏、のこぎり演奏などのコンサートを実施いたしました。

一方、屋外では、各校下で様々な食べ物やゲームを出店し、子どもたちが楽しみにしているコーナーです。

各模擬店では、本職?と思う程そ



れぞれに手際が良くてベテランの風格さえ感じる、日頃は厳しい監督やコーチがねじり鉢巻きでデコを持ち、子ども会のおっちゃん、おばちゃんにこやかに対応しています。

2月の屋外は冷え込み雪が降ることもありますが、子どもたちの「次何買う?」「何する?」という熱気で賑っています。

子ども文化祭は年に一度のメイン・イベントであり、大人も子どもも頑張る一日となっています。



福島区

海老江西子ども会

福井登志雄

毎年恒例になっている校庭キャンプを8月20日(土)・21日(日)に行いました。

全児童150人中、今年は85名の参加でした。

テーマは

「仲間を大切にしよう・大きな声であいさつをしよう」

また、日頃では味わう事の出来ない体験を、子ども達にしてもらうのもこのイベントの目的です。



夕食のカレー作り・校庭でのテント泊・キャンプファイアー・うちあげ花火大会・皆で行く銭湯。

次の日は、マグカップに自分のオリジナルデザインを考え色づけする工作。そして最後には、でっかいスイカ割り、一年生から順番に目かくしをして、皆の声をたよりに「一刀両断」気持ちよく爽快にまたおいしく食べて満足して終える事が出来ました。

色々な事を子ども達にさせるには、危険もあり大変ですが、海老江西地域の多くの指導者、学校側の協力、また資金面での助けもあおいで出来る行事であり、感謝しております。

住之江区

『住之江』

こどもまつり2011

会長 森下 秀海

平成23年4月29日、住之江区の春の恒例イベント、「住之江こどもまつり」が今年も行われました。

天候にも恵まれ、朝から社会教育団体をはじめとする参加団体が一致団結し、会場設営を行いました。そして9時45分、住之江区各校下子ども会のパレードで、こどもまつりがスタート。住之江区鼓笛隊を先頭に総勢600人を超える子ども達が、元気よく入場しました。



開会式には、平松大阪市長がお越しください、子ども達に温かい言葉をお掛けくださいました。また、区のマスコットキャラクター「さざびー」も活躍しました。

開会式後は各団体の模擬店やゲームコーナーが一斉に始まり、たくさんの子どもの笑顔が会場に溢れました。

約二ヶ月間の準備期間と当日の趣向を凝らした催し運営は、毎年多くの役員・指導者に支えられて行っております。大型連休の初日ということもあり、大変な一日ですが、何物にもかえがたい子ども達の笑顔のために、これからも子ども会を挙げて取り組んでいきたいと思えます。

鼓笛隊だより

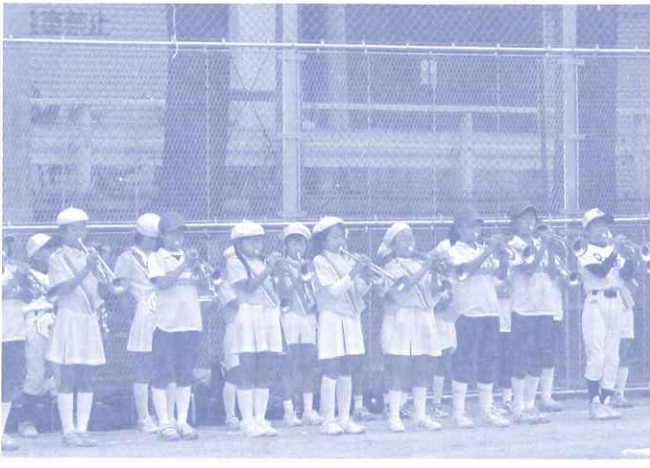
「鼓笛隊 第一分隊」

山田 惠朗

私たち第一分隊は中央区子連玉造校下子ども会トランペット鼓隊です。

玉造小学校の児童70名で今年度も元氣一杯に活動しています。昭和37年に市子連鼓笛隊発足とともに参加して以来49年間続けて活動して参りました。

昭和43年に二年後の日本万国博覧会マスゲーム出演を目指してリコーダー等の鼓笛隊から「トランペット」を導入してトランペット鼓隊としての形



態で活動しています。

一時隊員数が減少して解散の危機もありましたが、何とか立て直しに成功して、近年は活発に充実した活動を続けています

子どもだから、この程度でいいだろうと「おざなり」なことではなく、生まれて初めての「トランペット」を手にして、子どもたちそれぞれが一生懸命に練習して、十分に練習してきた成果を精一杯に「ここ一番の場面」でその力を発揮できることを目標に隊員が一丸となって素晴らしいパフォーマンスを披露できるようにがんばって取り組んでいます。

「鼓笛隊 第二分隊」

藤川 禎彦

大正区泉尾北鼓笛バンドは地域の行事に密着した行事参加が多くありますが、直近としては「地域住民大会・薄暮指導街頭パレード」で元氣よく演奏してきました。

7月20日、安全・防犯の講演のあと地域の人々と、薄暮の街頭指導パレードに出発です。

四十〜五十分の間みんな懸命に演奏し続け、戻ってきたときには全員体中が汗でボトボトになっていました。それでも元氣一杯、パレード演奏を堪能した様子でした。

最近部員の数が増減してきましたが、鼓笛隊としての基本的な楽器形態を維持しつつも、トランペット、トロンボーン、クラリネットなど広くウィンド系楽器を取り入れて指導体制も強化し、大阪市の鼓笛隊の健在ぶりを支える一隊として魅力ある鼓笛隊バンドを目指し、活動してゆきたいと思っています。



「鼓笛隊 第三分隊」

徳本 英先

私たち地域の小路鼓笛隊は、昭和37年10月、大阪市子連に、第三分隊として誕生しました。

19ある生野区の小学校下で鼓笛隊が

あるのは、私たち小路小学校下だけです。

私たちは、校下を中心に活動しています。

隊長を引き受けて今年で9年にになりましたが、行事に参加したときの子どもたちの表情はキラキラと輝いておりすばらしい力を見せてくれて、いつも感動しています。

生野区・校下地域の皆様のお力を借りて、子どもたちが心身ともに健やかに成長し立派な社会人になってくれますように、これからも活動を続けていきたいと思います。



「第38回大阪市各子ども会

対抗親善キックベースボール大会」

優勝・・・大正区

中泉尾キックベースボール部

準優勝・・・城東区

関目東連合子ども会

第三位・・・都島区

西都島連合子ども会

第三位・・・東淀川区

大道南連合K・B・C

「うれしかった

大阪市大会優勝!!」

中泉尾キックベースボール部

中洲 愛子

6月5日の大阪市大会大正区予選で、私たち中泉尾は大正区の代表となり、大阪市大会に出場することになりました。

優勝を目標に、みんなでいつも以上に練習をしたり、夕方練習もしました。私たちのチームは、監督におられると声を出さなくなります。でも、7月10日の大阪市大会では、みんなで声をかけ合いながら試合をしていました。

私たちは、第一試合は「勝とう」という気持ちで決勝まで勝ちあがりまし

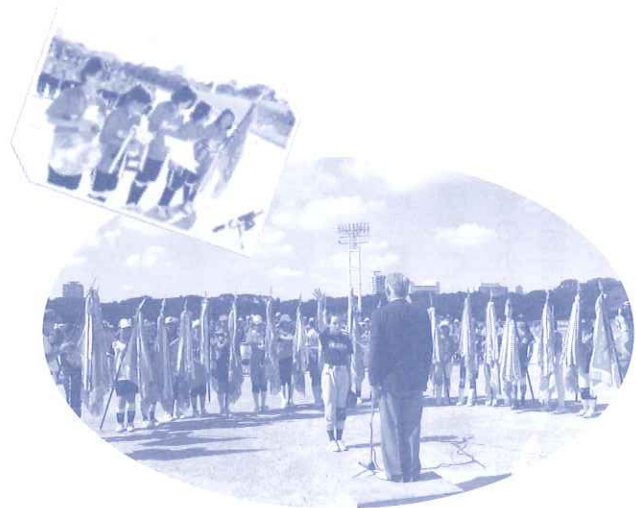


優勝・・・大正区
中泉尾キックベースボール部

た。みんなは緊張をしてあまり動けなくて負けていました。でもみんなの気合いが入って逆転しました!! 私たちのチームは大阪市No.1に決定し、泣いてしまいました。私たちは、一笑懸命の「笑」という言葉を監督から聞いて、『笑』で勝てたと思いました。これからも『笑』という言葉を忘れず、がんばりたいと思います。



準優勝・・・城東区
関目東連合子ども会



第三位・・・東淀川区
大道南連合K・B・C



第三位・・・都島区
西都島連合子ども会